

真っ赤なイチゴをいただきます

那須野農業協同組合（渡邊一夫代表理事組合長）様から町内小中学校（8校）へイチゴを寄贈していただきました。子どもたちに食への関心、食を支える農の役割を感じてもらうため、毎年行われています。児童は真っ赤に色づいたイチゴをおいしそうにほおばりました。（2月12日東陽小）



新年のごあいさつ



宮内庁長官室にて（左から）松木市長（下田市）、西村宮内庁長官、平山町長、山梨町長（葉山町）

那須町長、静岡県下田市市長、神奈川県葉山町長は新年のあいさつのため宮内庁を訪れました。御用邸を有する縁で友好都市協定を結んでいる3市町でのあいさつは今回が初めてとなり、さらに友好関係を深めました。

命の尊さ、大切さを学ぶ

那須中央中学校では、2月13日、14日の2日間にわたり「命の週間」に関わる行事を行いました。1日目は、2年生が自衛隊職員から止血法などを学びました。受講した平山^{かれん}榎恋さんは「災害時などに慌てず状況を判断し、教えていただいたことを実践したい」と感想を述べました。2日目は、日航機墜落事故遺族会「8.12 連絡会」事務局長の美谷島邦子さんを講師に迎え、講演会「安全の鐘を鳴らし続けて」を開催しました。美谷島さんの、この事故で息子を亡くした体験から語られる講演に、参加した生徒や教師、地域の人たちは真剣な表情で聞き入り、命の大切さを学びました。



▲講話「安全の鐘を鳴らし続けて」の様子



▲タオルと文鎮を使った止血方を実践

那須町無形民俗文化財「時庭の神楽」が行われました

2月22日、時庭地区で江戸時代末期から伝わるといわれる「時庭の神楽」が行われました。時庭地区の住民が見守る中、伝統のある神楽舞を披露し、火伏せ御祈祷、五穀豊穡、無病息災を祈りました。



那須白河観光推進協議会 関西観光客誘致プロモーションを実施しました

2月20日と21日の2日間で、那須・白河観光推進協議会によるプロモーションを大阪府のディアモール大阪で実施し、今年開催される大阪万博に向けた関西方面へ、両地域の特産品等をPRをしました。

